

本社阪神事務所

1 事務所概要

- ▶ 住所 〒661-8567 兵庫県尼崎市浜1丁目1番1号
- ▶ 従業員数 クボタ487名、関連会社588名 計1,075名(2010年7月1日現在)
- ▶ 敷地面積 46,478.9m²
- ▶ 事務所建物



2 事業概要

- ▶ 事業内容 機械事業分野
水・環境システム事業分野
社会インフラ事業分野
- ▶ 主要製品
農業機械及び関連商品
膜システム・上下水エンジニアリング・ポンプ・自販機



3 事務所変遷(沿革)

平成14年(2002年) 本社阪神事務所竣工

4

環境方針

全社環境方針

1. すべての企業活動において環境保全に取り組みます
2. 地域社会との共生を図る環境保全に努めます。
3. 環境保全に計画的に取り組みます。
4. 環境管理を徹底します。
5. 環境コミュニケーションを積極的に推進します。

本社阪神事務所環境方針

1. 省エネルギーを推進し、CO₂排出量の削減、廃棄物の再利用・排出抑制・再資源化に取り組み、ゼロ・エミッションを目指します。
2. 環境関連法規制及び当事務所が同意するその他の要求事項を遵守し、維持します。
3. 地域社会とのコミュニケーションを図り、地域の環境保全に取り組みます。

5

新・環境保全中期計画 目標及び実績

課題	テーマ	管理指標	基準年度	2009年度			
				目標	実績	自己評価	目標未達の理由
地球温暖化防止	CO2の削減	CO2排出原単位	2008	▲1%	▲5.9%	◎	-
		CO2排出量	2008	▲1%	▲1.3%	◎	-
循環型社会の形成	廃棄物の削減	排出原単位	2008	▲2%	▲40%	◎	-
	水資源の節約	水使用量原単位	2008	▲1%	▲4.6%	◎	-

※自己評価の基準 ◎:目標超過達成 ○:目標達成 ×:目標未達成
注)新・環境保全中期計画のCO2排出量実績値の算定の際は、2008年度の単位発熱量及びCO2排出係数を使用しています。

環境 TOPICS

「省エネ・環境貢献」を考えた設備を積極的に採用しています。



[太陽光発電システム]

- 基本仕様
- 設置容量:60kW
- 太陽電池:薄膜シリコンハイブリッド



[厨房排水処理中水設備]

- 基本仕様
- 計画汚水量:30m³/日
- 処理方式:膜分離活性汚泥方式



[実験棟排水処理設備]

- 基本仕様
- 計画汚水量:10m³/日
- 処理方式:膜分離活性汚泥方式

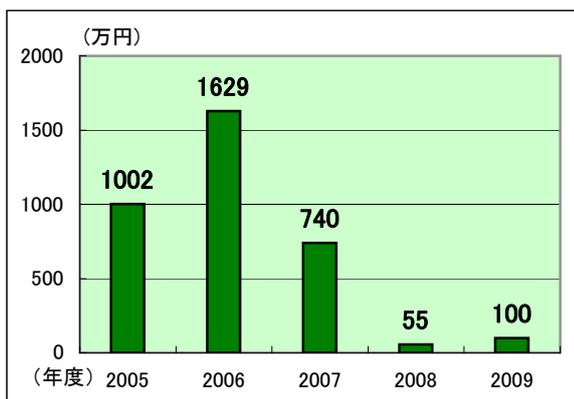
本社阪神事務所

6 環境会計

① 環境投資

2009年度:100万円

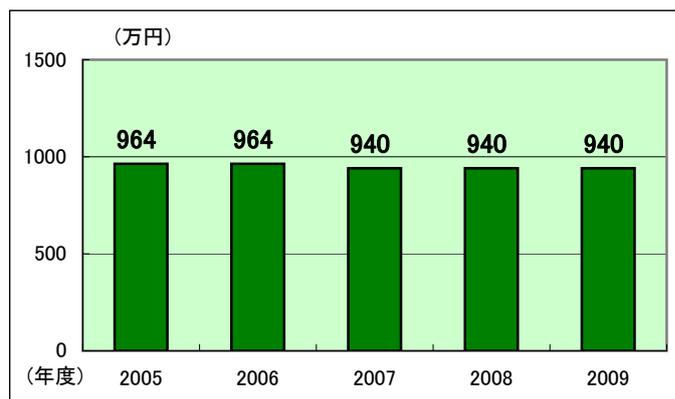
築山歩道にソーラー外灯を設置し、自然エネルギーの利用及び節電を図っています。



② 環境保全費用

2009年度:940万円

事業所内グリーンメンテナンス等に、年間940万円の費用が発生しています。



③ 環境保全効果

事業活動の一環で実験等により、エネルギー使用量は増加しましたが、廃棄物排出量は大幅に削減しました。

効果の内容	効果	2008年度	2009年度	効果	対前年度比
事業活動に投入する資源に関する効果	エネルギー使用量(熱換算GJ)	43246	42623	▲ 623	98.6%
	水使用量(万m ³)	2.681	2.681	0	100.0%
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する効果	CO ₂ 排出量(t)	1702	1655	▲ 47	97.2%
	SO _x 排出量(t)				
	NO _x 排出量(t)				
	ばいじん排出量(t)				
	PRTR対象物質排出・移動量(t)				
	廃棄物排出量(t)	82.5	51.7	▲ 31	62.7%
廃棄物物理量(t)	1.1	1.1	0	100.0%	

④ 経済効果

2009年度:430万円

分類	内容	年間効果
省エネルギー対策	水のリサイクル「中水の利用(トイレ洗浄及びグリーン散水用)	230 万円
	自動消灯(昼休み時)、個別エアコン自動停止(18時以降)	200 万円
合計		430 万円

7 環境パフォーマンス

① 地球温暖化の防止

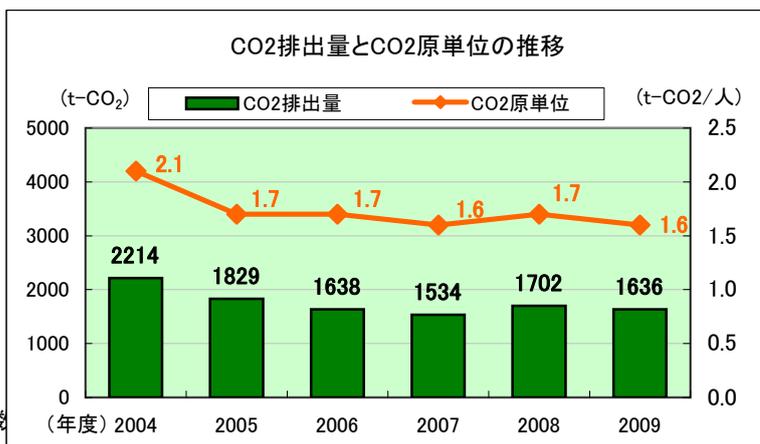
省エネルギー活動

節電・節水等節エネルギーに努め、2009年度エネルギー使用量は、2008年度比1%減となりました。



CO₂排出量の削減

2009年度CO₂排出量は電力の排出係数低下に伴い、低減しました。



注: CO₂原単位=CO₂排出量÷従業員数

② 循環型社会の形成

廃棄物排出量の削減

古紙(段ボール紙、新聞、雑誌、シュレッダー紙)を有価物として売却し、大幅な排出削減となりました。

ゼロ・エミッション化

2009年度は廃棄物排出量が減り、中間処理後最終埋立比率が増えたため、ゼロ・エミッションは、達成できませんでした。



注: 2004~2006年度 埋立比率(%) = 埋立量 ÷ 廃棄物排出量

2007~2009年度 埋立比率(%) = (直接埋立量 + 中間処理後最終埋立量) ÷ (有価物量 + 廃棄物排出量)

8 環境コミュニケーション

① 地域の皆様との交流・美化活動

- ◎ 名 称 尼崎市小田地区わがまちクリーン運動
日 付 2009年5月21日
参加人数 20名
地域清掃活動の実施



- ◎ 名 称 クボタ eプロジェクト活動（武庫川河川敷）
日 付 2009年7月5日
参加人数 181名
武庫川河川敷清掃活動の実施



- ### ② 環境省ライトダウンキャンペーンに参加
- 環境月間には、環境省主催のライトダウン
キャンペーンに参加、ビルの広告灯等消灯しました。
期間中1,683Kwの節電



③ 尼崎市第6回まちかどチャームング賞受賞

「まちかどチャームング賞」は、うるおいある美しい街の景観を
“つくり、守り、育てる”尼崎市での取り組みに与えられる賞です。
本社阪神事業所はこの「建造物部門」で表彰されました。



9 サイトデータ

▶ INPUT

項目	単位	使用量	熱量換算GJ	
エネルギー	電気	万kWh	354	35,366
	石炭コークス	t	—	—
	都市ガス	千m ³	147	6,369
	灯油	kℓ	—	—
	軽油	kℓ	—	—
	重油	kℓ	—	—
	LPG	t	—	—
	ガソリン	kℓ	25	888
	合計		—	42,623

水使用量	万m ³	2.7
------	-----------------	-----

▶ OUTPUT

CO ₂ 排出量	t-CO ₂	1,636
---------------------	-------------------	-------

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				特定施設なし	測定値
下水道		pH	—	—	6.4~7.4
		BOD	mg/ℓ	—	2未満
		COD	mg/ℓ	—	—
		SS	mg/ℓ	—	2未満

廃棄物排出量	t	51.7
埋立比率	%	2.3